

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	新門司球場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	門司区新門司北二丁目6番2号等	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 北九州フットボールクラブ		
	所在地	門司区新門司北二丁目6番2号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[所見]				
【利用人員】				
区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
新門司庭球場	12,224 人	7,468 人	6,762 人	▲706 人
新門司運動場	10,250 人	7,854 人	5,354 人	▲2,500 人
新門司球技場	54,366 人	42,976 人	39,844 人	▲3,132 人
計	76,840 人	58,298 人	51,960 人	▲6,338 人
目標	91,000 人	92,000 人	93,000 人	
要求水準	79,400 人	79,400 人	79,400 人	
※ ・・・評価対象年度				
休館日数 R2 年度：39 日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3 年度：93 日（新型コロナ緊急事態宣言）				
○いずれの施設も利用者数の目標に届かず、また、庭球場は前年を下回る結果となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により施設を休館したことが主な理由となっており、指定管理者の責任によるものではない。				
○ギラヴァンツ北九州からの練習会場としての使用日数増加の要請があった。技術的に厳しい条件であったが、的確に整備手法を選定し、粘り強く作業に取り組みことで、プロチームの求める芝状態を維持し、この要請に応えることができた				
○消毒液・体温計・二酸化炭素濃度測定器の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。				

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設利用について】

満足度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	98.0%以上	98.0%以上	98.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	88.9% (49.5%・39.4%)	92.3% (59.1%・33.2%)	93.4% (52.5%・40.9%)

【職員対応について】

満足度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	98.0%以上	98.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	95.3% (57.3%・38.0%)	98.2% (63.6%・34.6%)	98.5% (66.8%・31.7%)

※ ・・・評価対象年度

- 「施設利用について」は、目標値を下回った結果となった。
主な理由は、施設の老朽化によるものであり指定管理者の責任によるものではない。とりわけ満足度を下げる要因は、庭球場のオムニコートの経年劣化に関するものとなっている。
- 「職員対応について」は、目標値を上回り高い評価を得ている。
- 日頃より利用者とのコミュニケーションを密にし、またアンケートボックスを設置する等して、より多くの意見や要望を取り入れることに努め、改善に向けて迅速に取り組んでいる。
- HPでの掲載、管理棟内での掲示により、大会の開催や結果等の情報や、施設利用予定に関する情報を適時提供している。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所 見】

【維持管理経費】

(単位:円)

区 分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
委託料	15,375,740	15,053,308	15,832,908	779,600
修繕費	3,349,946	2,750,000	2,750,000	0
光熱水費	3,844,223	3,586,153	3,512,330	▲73,823
人件費	8,768,671	8,252,102	8,911,532	659,430
その他経費	2,528,778	3,201,358	2,357,305	▲844,053
合計	33,867,358	32,842,921	33,364,075	521,154
予算	34,935,005	34,923,000	34,923,000	

※ . . . 評価対象年度

○日常的な清掃や草刈り、施設や備品の小修繕を施設職員が行うことで、安価で迅速な対応に取り組んでいる。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所 見】

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
新門司庭球場	2,356,230	2,000,810	1,608,340	▲392,470
新門司運動場	294,620	282,580	221,350	▲61,230
新門司球技場	2,520,140	2,455,700	2,094,150	▲361,550
①実収入計	5,170,990	4,739,090	3,923,840	▲815,250

区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
②減免額	1,508,720	1,192,750	1,324,120	131,370
③合計(①+②)	6,679,710	5,931,840	5,247,960	▲683,880

※ . . . 評価対象年度

○利用者の減少にあわせ、使用料収入も全施設で減少した。

○感染対策を講じ、テニス教室など自主事業を少しでも多く開催できるよう調整を行った。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

- 「指定管理研修会」などの施設運営に関わる研修会に参加、また毎月のスタッフミーティングなどでの情報共有により職員の資質の向上、能力の開発に務めた。
- ソフトテニス連盟やグラウンド・ゴルフ協会、ジュニアサッカーなど、地域のスポーツ関係団体や地元の中学校（松ヶ江中学校）および九州国際大学との連携を図り、回数や参加者の制限はあったものの、各種スポーツ大会や教室を協働で開催し、地域スポーツ推進に貢献した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- 事故や災害時における対応については、連絡網を作成、それに基づいて最も迅速かつ適切な対応が取れるように準備した。

【総合評価】

【所見】

- ソフトテニス連盟やグラウンド・ゴルフ協会、ジュニアサッカーなど、地域のスポーツ関係団体や地元の中学校（松ヶ江中学校）および九州国際大学との連携を図り、回数や参加者の制限はあったものの、各種スポーツ大会や教室を協働で開催し、地域スポーツ推進に貢献した。
- ギラヴァンツ北九州からの練習会場としての使用日数増加の要請があった。技術的に厳しい条件であったが、的確に整備手法を選定し、粘り強く作業に取り組むことで、プロチームの求める芝状態を維持し、この要請に応えることができた。

【今後の対応】

- 今後も施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。